



学校だより

CONTENTS

巻頭言 群馬高専を旅立つ皆さんへ／校長 三谷 卓也	2
特集＜第 57 回卒業式・第 27 回修了式を迎えて＞	
卒業生・修了生に贈る言葉	2
各科卒業にあたり	4
専攻科修了にあたり	14
各科卒業研究一覧	16
専攻科特別研究一覧	21
教職員からはなむけの言葉	22
退任挨拶	24
NEWS&TOPICS	25

第128号

2023.3.13 広報委員会発行



独立行政法人 国立高等専門学校機構
群馬工業高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Gunma College

〒371-8530 群馬県前橋市鳥羽町580番地 <https://www.gunma-ct.ac.jp/>

(題字・下田 功 初代校長)



変化を乗り越えた皆だからできること

機械工学科 5年 担任 平間 雄輔

機械工学科5年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。3年次より担任を受け持ちましたが、人生初の正担任ということもあり、至らぬ点も多々あったと思います。私自身「あの時の行動は正しかったのか？」など振り返ることもあります。3年間なんだかんだあつという間でした。今だから珍しくない、学生のコロナウィルス感染についても、群馬高専ではこのクラスが第1号で対応にんやわんやしていたのも、もう3年前ということに驚きを隠せません。

皆様も同じことを挙げるとは思います、一番の大きな世界の変化はコロナ禍だと思います。今まで当たり前だったものが当たり前ではなくなりました。3年次前期の大半はオンライン授業となりました。オンライン授業は言ってしまうと受講しているふりをいくらでもできてしまいます。つまり、自分自身で集中力・モチベーションの管理をすることをより一層求められるようになりました。これまでは当たり前のように登校し、授業中に眠くなって寝ていても起こしてくれる人がいるという常識が崩れた一例だと思います。また、高専大会や文化発表会

の中止、研修旅行の中止など、これまでの日常が失われました。それでも、失っただけではありません。失ったから得られたものもあると思います。私個人的には、Teamsが活用されるようになったのは良い変化だと思います。クラス運営で情報共有がしやすくなったと思います。皆様も失ったから得られたものについて考えてみてください。

生きていく上で求められる特性は、変化に適応することだと思います。皆様は、激動するコロナ禍の中で無事に卒業することができたので、変化を乗り越えられる人間だと自身を持ってください。これからもどんな変化が訪れるかわかりませんし、誰も予想できません。そんな中でも皆様は変化に適応し、活躍してくれると信じています。

最後に余談ですが、最初はタイトルを「激動のコロナ禍を乗り越えてきた者達だ、面構えが違う」という某巨人がでる漫画の台詞のパロディにしようとしたのをやめたのは秘密です。

それでは皆さん、これからもお元気で！

「感謝」「繋がり」「情熱」を忘れないで！

機械工学科 5年
永井 孝太

高専に入学してからあつという間に時が過ぎ、卒業の時期になってしまいました。私たちが3年生の頃にコロナウィルスが猛威を振るい始め、その影響でオンライン授業の導入や修学旅行中止などのハプニングが起こりました。そんな中でも、私たちは何かしらへ「情熱」を持ち、部活動やインターンシップ、定期テスト、受験、就職活動などに立ち向かい、それぞれの夢に向かって努力を続けてきました。

とある目標に向けて努力を継続できるほどの「情熱」は高専という環境で培われたものだと思っています。私自身、この5年間で何度も「辛い」、「投げ出したい」と思ったことがありました。しかし、今思えば周りの先生方や親に支えられ、友人たちと協力し合って困難を乗り越えてきました。

これから先、そんな高専時代の苦楽を共にした友人や御指導してくださった先生方、親へ「感謝」と同時に、仲間との「繋がり」と今まで培ってきた「情熱」を忘れないでほしいです。

保 護 者 よ り

学び始めた頃の心を忘れない

機械工学科 5年
永井孝太さんの保護者
永井 典子

5年前の2018年2月21日（水）に発表された合格者受験番号を見て自分の番号を見付けた時の喜びを覚えていませんか？我家の息子の喜びも相当でしたが、私も息子が一生懸命努力した姿を見てきましたので、番号を見付けた時は心底嬉しく、喜んだ事を覚えています。

晴れて高専生になり、その余韻に浸ってばかりいられず、課題やレポート、テスト勉強など普通の高校生との違いに驚く事も多々有り、大変な時もありましたが難問に立ち向かい、教え合ったり、意見を出し合ったり、支え合う友達も出来、高専での学校生活を日々充実させている姿にとっても安心しました。

これから皆さんは就職・進学とそれぞれの道に進みます。5年前、目標を持って高専生になった時の気持ちを大切に、初心忘るべからずで、自信を胸に、健康に気を付け、これからも頑張ってください。応援しています。

そして、今日まで御指導くださった諸先生方、学校関係者の皆様、恵まれた環境で学べた事に感謝しております。ありがとうございました。

卒業生進路一覧

※（ ）内は人数

進 学

群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (10)
東北大学工学部機械知能・航空工学科
群馬大学理工学部機械知能システム理工学科 (2)
千葉大学工学部機械工学コース
横浜国立大学理工学部機械・材料・海洋系学科
長岡技術科学大学機械工学分野機械創造工学課程 (2)
長岡技術科学大学物質生物工学分野物質材料工学課程
福井大学工学部機械・システム工学科機械工学コース
福井大学工学部機械・システム工学科原子力安全工学コース
信州大学繊維学部先進繊維・感性工学科先進繊維工学コース
名古屋工業大学工学部物理工学科
島根大学総合理工学部機械・電気電子工学科
工学院大学工学部機械工学科
進学希望 (4)

就 職

旭化成株式会社
株式会社 JAL エンジニアリング
いすゞエンジニアリング株式会社
株式会社三宅製作所
麒麟ビール株式会社
株式会社ヨコオ
サントリープロダクツ株式会社
スバル興産株式会社
DMG 森精機株式会社
日立建機日本株式会社





チャレンジする学級を目指して

電子メディア工学科 5年 担任 **平井 宏**

ご卒業、おめでとうございます。

令和2年4月から3年間、この学級を担当いたしました。最初の3ヶ月は、新型コロナウイルス感染症の流行のため学校は閉鎖され、microsoft 365を使用した遠隔授業が行われました。

さて、私は、できるだけ学生がチャレンジできるような学級となるように努めました。例えば、ある学生は学生個人で進んで申し出て群馬県内の公的な研究開発機構で2週間のインターンシップにチャレンジしました。また、ある学生はトビタテ！留学JAPANから援助を受け、ヨーロッパの工科大学で6週間の研究生活にチャレンジしました。このように、本学級の学生が、新しい体験にチャレンジし、将来活躍する際の糧を獲得できるように配慮しました。

また、学生一人ひとりを個々別々に指導するように努めました。例えば、年に2回の1人10分の個別面談では一人一人の話をよく聞くように努力しました。そのため、「学生一人一人に良く目を向けている」「手間を惜しまず、一人一人の学生に丁寧に対応してくれる」「受験を自分たちのペースで考えさせてくれる」な

どの感想を学生から聞くことができました。このように、本学級の学生一人ひとりの個人的な懸案や個人的な希望などに、一人ずつ別に寄り添うように配慮しました。

そして、このような未曾有の災禍の最中では、外出自粛などにより生活が暗くなりがちと感じました。そのため、できるだけ明るい話題を提供するように努めました。例えば、以前グアム島に旅行をした際に、4ドルのコーヒーに5ドルの支払いを要求された際の逸話をホームルームで語りました。また、私と連携関係にある電気通信大学の構内に研究室分室を設けた際には、その写真をteamsにアップロードしました。このように、本学級のできるだけ多くの学生が、陽気な気持ちで生活できるように配慮しました。

最後に、家族の皆様にはいろいろと協力を賜りました。保護者の援助なくして、この卒業の日を迎えることはできなかったことでしょう。この紙面をお借りして、衷心よりお礼を申し上げます。

親愛なるパイオニーヤたちへ

電子メディア工学科 5年
須藤 雛子

先日成人式に参加した際、久しぶりに会った友人に「まだ高専いるんだ!」と言われました。もちろん悪意ゼロです。シンプルに驚いていました。それもそのはず、高専に入学してもう5年経つそうです。信じられないですね。1年時の学科別HRで当時の学科長が恋バナを始めたこと、昨日のように思えます。

体感的には短く感じる5年間でしたが、思い返すと様々な思い出がよみがえってきます。特に昨年の工華祭はとても印象的でした。それまではお世辞にも協調性のあるクラスとは言えなかったE科ですが、準備をみんなで一緒にしたことによりクラスの仲が縮まったと思います。あと、何よりうちのホスト連がかっこよくて普段よりも5割増しに見えました(褒めています)。

人生の4分の1を共にした仲間と離れるのは名残惜しいですが、きっとそれぞれが一生懸命自分の道を進むことと思います。私もそれを想像して頑張るとします。

最後になりますが5年間指導してくださった先生方、保護者の皆様、そして、クラスの友人たちに心より感謝申し上げます。

仰げば尊し

電子メディア工学科 5年
箱崎結子さんの保護者
箱崎 智美

入学した日のことを覚えているだろうか。中学校の制服を着て、緊張した面持ちで、「高校」とは違う扉を叩いたあなたたち。

わずか15歳で工業の道を志し、高専に入学。その道は簡単ではなかったはずだ。私自身、学校に馴染めない娘を見て、とても心配していた。それでも、娘は今、沢山の仲間と囲まれている。編入試験に向けて勉強を教えてもらったり、友だちとおしゃべりしたり。高専の良き仲間と巡り合い、成長し、沢山の思い出を作る事ができたと思う。また、多くの先生方にも大変お世話になった。我が子ほど先生方にお世話になった子はいないだろう。娘を支えてくださった全ての友だち、先生方に、心から感謝申し上げたい。

今、皆さんは、高専から巣立っていく。不安な事もあるかもしれない。でも、大丈夫。道はそれぞれ違っても、皆の心の中には友だちがいて、先生がいて、高専がある。卒業おめでとう。

卒業生進路一覧

※()内は人数

進学

群馬工業高等専門学校専攻科生産システム工学専攻 (5)
東北大学理学部数学科
宇都宮大学工学部基盤工学科・情報電子オブティックスコース
新潟大学工学部電子情報通信プログラム (2)
富山大学工学部電気電子工学コース
名古屋大学工学部物理工学科
京都大学工学部物理工学科・エネルギー応用工学コース
九州工業大学情報工学部物理情報工学科
進学希望 (3)

就職

アイリスオーヤマ株式会社 (2) セイコーエプソン株式会社
アイリス・ファインプロダクツ株式会社 東京レーダー株式会社
旭化成株式会社 株式会社日本サーキット
アマゾンジャパン合同会社 株式会社富士通ゼネラル
出光興産株式会社 三菱電機エンジニアリング株式会社
NTT 東日本グループ会社 就職希望
株式会社オリジナルソフト





成功の秘訣

電子情報工学科 5年 担任 **荒川 達也**

4年と5年、このクラスを受け持たせて頂きました。今振り返ってみてもとてもまとまりがよく、学級委員が率先して動き、それに全員が協力して、むしろ担任の方が助けられることも多く、このクラスを受け持つことができ幸運だったと思います。個人の感想ですが、本当です。副担任をお願いした雑賀先生と菊地先生も同じご意見だと思います。

2年間は短いようですが、やはりいろいろなことがありました。社会見学旅行が中止になってしまったのは、みなさんにとっても本当に残念だったことと思います。清水理佳先生からのオファーで実現したタイ高専とのリモート交流会は楽しくも有意義でした。2回実施した中学生向け学校見学会ではみなさんにかなり無理をお願いしましたが、その甲斐あって中学生や保護者の方々の評判は上々でした。改めてご協力に感謝します。

他にもまだまだ思い出はつきませんが、中でも一番印象に残っているのは卒業研究発表会でした。といってもこの原稿を書いているのが1月25日の発表会の直後なので記憶に新しいのも当然なのですが、しかしそれ以上に強く印象にのこる、とても良い発表会だったと思います。

研究の完成度はそれぞれで、思うような結果が出なかったという人もいるかもしれませんが。私の方も発表内容を十分に理解できているわけではありません。しかしそれよりも何よりも、みなさんがとてもよい表情をしていました。「やらされている感」がほとんどなく、自分が選んだ研究テーマに愛着をもって、一年間研究を楽しんできたのだということが伝わってくる良い発表ばかりでした。

これからそれぞれの進路において、いろいろな形で自分の仕事を持つことになると思います。しかしどんな職業、どんな仕事を選ぶにしても、成功の秘訣はただひとつ楽しむこと。それをこの一年間を通して実感したことと思います。担任としてみなさんの真摯な努力にこの場を借りて敬意を表するとともに、みなさんも是非、これまで指導して下さった先生方、そして支えて下さったご家族に、改めて感謝の気持ちをもって欲しいと思います。

さて、高専生活もあとわずか、最後の関門を残すのみとなりました。卒業研究を通して学問の厳しさと楽しさを知ったみなさんのこと、きっと良い成績で卒業を迎えてくれるものと期待しています。最後の期末試験も、楽しみましょう！

出合いに感謝

電子情報工学科 5年
渡辺 幸徒

高専に入学してから早5年の月日が流れてしまったことに驚きを感じます。皆さんもこの5年間を思い出してみてください。どんなことがあったでしょうか。私事ですが、学生会長を務めたり、工華祭の副実行委員長を務めたりと、学生生活においても大変充実した日々を送ることができたと思います。高専では本当に多くの方にお世話になりました。クラスメイトや学生会の子たちであったり、自分の趣味を手伝ってくれる先輩や後輩だったり、他高専の学生会の方だったり、工華祭時期にお母さんのように体調の心配をしてくださった学生課の方がいたり、本当にたくさんの方にお世話になり、ご迷惑をおかけしました。今では成功も失敗もいい思い出です。

この5年間、お世話になり、関わってくださったすべての人に感謝です。ありがとうございました。皆さんも最後にもう一度、お世話になった方に感謝の気持ちを伝えてみてはどうでしょうか。

保護者より

あっという間の5年

電子情報工学科 5年
渡辺幸徒さんの保護者
渡辺 幸雄

はじめは、通学距離が長いので遅刻しないかどうか心配でしたが、遅刻、休みなく通学できたことはよかったと思います。学校生活にも慣れて、クラブ活動等で次第に遅くなり、また帰ってきてからも遅くまで頑張っていました。夜遅くまで友達に教えたり、教わったりして勉強もしました。

新型コロナウイルスにより、学生生活に影響を受けながらも、苦勞して授業や、イベントができたことは大事な思い出になることと思います。

進学、就職どちらに行こうとも、5年間、基礎はしっかり学んでいるので、立ち止まらず一步一步、前に進んで下さい。また続けてやるのが大事です。嫌なこと、苦手なことこそやってみて下さい。自分に必要なことです。後でやっというて良かったと、きっと思える時があります。

また、20歳になり社会人の仲間入りとなります。社会のいろいろなことに参加できます。自由に行動できますが、もちろん責任もついてきますので無理しないようにして下さい。

最後に、卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。健康第一でこれからも頑張ってください。

卒業生進路一覧

※()内は人数

進学

群馬工業高等専門学校専攻科生産システム専攻 (5)
茨城大学 工学部 情報工学科
群馬大学 情報学部 情報学科
群馬大学 理工学部 電子・機械類
東京大学 工学部 電子情報系学科
東京農工大学 工学部 知能情報システム工学科
東京都市大学 情報工学部 情報科学科
長岡技術科学大学 工学部 情報経営システム工学課程
福井大学 工学部 電気電子情報工学科 (2)
山梨大学 工学部 コンピュータ理工学科 (3)
豊橋技術科学大学 工学部 情報・知能工学課程
立命館大学 理工学部 電子情報工学科
琉球大学 工学部 工学科
研究生 (2)

就職

キヤノン株式会社
ジャパンエレベーターサービス
ホールディングス株式会社
株式会社アイ・エス・ビー
株式会社ゆめみ
株式会社ワイズ
株式会社日立ハイテクフィールディング
東日本旅客鉄道株式会社
本田技研工業株式会社
KDDIエンジニアリング株式会社





明るい未来を想像して

物質工学科 5年 担任 **工藤 まゆみ**

皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、ご家族の皆さまにおかれましても、心よりお祝い申し上げます。

私は3年生から5年生まで3年間正担任を務めさせて頂きました。初めての正担任で、至らない点も多くありましたが、クラスの皆さんをはじめとする多くの方々に支えて頂きました。楽しく、学びの多い3年間で皆さんと一緒に過ごすことができ、とてもうれしく思います。

3年前、コロナ禍で新学期早々から3か月間休講となり、先の見えない不安を感じながら過ごされたことと思います。そんな中、オンラインでの面談で皆さんの前向きな姿を見て、私自身も励まされました。当時は、慣れないオンライン授業や家庭学習で、精神的にストレスを感じている学生さんも多かったと思います。それでも各自ができることに取り組み、休講が明けてから教室で元気な姿を見せて下さったときにはホッとしたことを覚えています。この3年間は大きな環境変化の中で学校生活を送り、苦勞を乗り越えながら一回りも二回りも成長されたのではないのでしょうか。

卒業後の進路は皆さん様々ですが、いずれは就職す

ることと思います。学生生活はあっという間で短く、働き始めてからが長いので、楽しく仕事を続ける工夫が必要になると思います。私は就職が遅く、まだ10年に満たないため俯瞰することはできませんが、どんな仕事も覚えるまでは慣れるのに精一杯です。仕事を覚えると、自分の裁量でできることが増え、自分流にアレンジしたり、大きな仕事を任されるようになったりして、はじめてやりがいを感じられるようになります。(やりがいを感じられるようになるまでに時間がかかることが多いと思います。)このとき、自分の強みを仕事に活かしたら、なお面白くなっていくと思います。誰にでも強みや得意なことがあり、それに気づいていない人もいるかもしれません。若いうちに自分の強みを見つけて磨いておくと、思わぬ仕事で役に立つこともあります。皆さんはこれから新しい経験を積むチャンスがたくさんあるので、是非、そこでの経験を通して自分の強みを伸ばして行って下さい。機会があれば、留学もおすすめです。私は1年間の留学で視野が格段に広がりました。これから始まる皆さんの新生活を想像すると楽しみです。応援しています！

高専卒業、やっとな...もう？

物質工学科 5年
森田 蒼典

制服も、青春も(!?)、4年の研修旅行もない高専生活でしたが、自由で、長い夏休みと楽しい実験のある本当に充実した5年間でした。

5年間で計20回の手強い試験を乗り越えることもできました。テスト期間はとても長く感じていたはずなのに、あっという間に卒業式です。みんなと放課後遅くまで残って勉強したこと、警備員の方に早く帰るように声かけして頂いたこと、時にはレポートや試験勉強で、先生の名前を叫びながら寝られない日を過ごしたこと、今となってはかけがえのない日々でした。

今日までの高専生活で、尊敬し、気軽に相談できるたくさんの先生と出会えました。また、1・2年の混合学級や部活動を通して、他学科の友人、4歳上の先輩から、4歳下の後輩とのたくさんの出会いに恵まれました。今日この日を迎えることができたのは、私たちを見守り指導して下さった先生や両親、そして切磋琢磨し合った友人のおかげです。それぞれの進路で全国各地に分散してもまたいつか、凝集しましょう。ありがとうございました。高専最高！

保護者より

これからの未来は自分の手で

物質工学科 5年
清水弥央さんの保護者
清水 めぐみ

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして、5年間お疲れ様でした。高校生より長い5年間、ただ2年長いだけではなかったと思います。高専生でなければ経験できない事がたくさんあったのではないのでしょうか。普段の授業、定期試験、実験、研修、研究発表、全ての経験が特別な経験となっているはずです。

ここで学んできた事は自分の知識となり、必ず社会の役に立っていきます。その知識や経験をどう役立てるかとは自分次第です。親ははっきりいって何もしていません。友達や先生方に助けていただいた事もあったと思いますが、皆さんは自分の足でここまでできたのです。だからこそ、これからの自分の未来も日本の未来も輝かせることができるのです。勇気を持って自信を持って希望のある未来を目指して下さい。

卒業生の皆さん、全国へ世界へ羽ばたいて行きましょう！

卒業生進路一覧

※()内は人数

進学

群馬工業高等専門学校専攻科環境工学専攻 (11)
室蘭工業大学理工学部システム理化学科 (2)
宇都宮大学農学部応用生命化学科
群馬大学理工学部物質環境類応用化学プログラム (2)
群馬大学理工学部物質環境類食品工学プログラム
神奈川大学工学部物質生命学科
新潟大学農学部農学科応用生命科学プログラム (2)
長岡技術科学大学工学部物質材料工学課程 (1)
長岡技術科学大学工学部生物機能工学課程 (2)
信州大学繊維学部応用生物科学科
信州大学繊維学部化学・材料科学科
静岡大学農学部応用生命科学科
金沢大学理工学部物質化学類 (2)
奈良女子大学理学部数物科学科数学コース
岡山大学理学部生物学科
広島大学理学部化学科
進学希望

就職

信越化学工業株式会社
協和キリン株式会社
日東電工株式会社
ニプロ株式会社





卒業はスタート、新たな目標に向かって邁進しよう！

環境都市工学科 5年 担任 井上 和真

5Cのみなさん、卒業おめでとう。保護者のみなさんにおかれましては、心よりお祝い申し上げます。クラス運営にご理解とご協力をいただいたことに、厚く御礼申し上げます。お陰様で、無事にこの良き日を迎えることができました。

私はC科のOBで、5Cのみなさんの先輩にあたるわけですが、みなさんの群馬高専入学と同時に1C担任（1－5副担任）で教員生活をスタートとなり、5年間一緒に歩んできました。特に、先日行われました卒業研究の発表会では、5年間の大きく成長した姿が見受けられ、嬉しさを感じました。

この5年間を振り返ってみると、みなさんが3年生になった春、Covid-19が猛威を振るい、社会見学旅行をはじめとする多くの学校行事が中止となってしまいました。数か月にわたるオンライン授業も経験し、夏休み期間に実験実習を実施するという変則的なスケジュールも経験しました。課外活動も制限を受けました・・・とても残念な思いをされたのではないのでしょうか。私も非常に残念に感じます。

しかし、Covid-19の猛威の中で、新しい技術の発展を

体感されたのではないのでしょうか？

私の好きな言葉の一つに、『目標がその日その日を支配する』という言葉があります。みなさんの目標は何でしょうか？卒業にあたり、皆さんは就職・進学と新たなスタートを切りますが、同時に大きな目標を設定し、それに向かって、日々努力・研鑽を積んで欲しいと願っています。技術の進歩は目覚ましいものです。みなさんは技術者の金の卵であることは間違いありません・・・時代の変化に柔軟に対応するためにも、日々の成長を心がけて欲しいと思います。年齢を重ねるだけでは大人（真の技術者）にはなれません。

また、4年生以降の進路関連行事では、多くのC科OB・OGとの繋がりを感じるがあったと思います。みなさんはC科OB・OGの仲間入りとなりますが、将来は後輩のための協力をお願いできればと思います。群馬に戻られた際は、元気な姿を見せてください。

最後までボヤキ節のように感じるかも知れませんが、私からの贈る言葉とさせていただきます。みなさんの将来のご活躍・ご健康を祈念しております。

酒の肴になる話を

環境都市工学科 5年
尾谷 壮哉

私たちのクラスは、ほかの学年と比べ成績が悪く、そのことをよく先生方に心配されていました。先生方の心配は見事の中し、この5年間で何人もの仲間たちを残してきてしまいました。彼らとともに卒業ができないことには悔いがありますが、私たちは今、残してきた仲間たちの思いも胸に、人生の4分の1を過ごした学び舎を旅立とうとしています。

私たちは学力と引き換えに、社交性や趣味など、この先の人生に大切なものをいくつも学んできました。もちろん、今後の人生では学力が必要になることはわかっています。ただ、それ以上に大切なことがあることも高専生活の中で学んできました。特に私たちのクラスは運動が好きで、球技大会では本気になって皆で熱くなったことは良い思い出です。

私は、数十年後に、このクラスの誰かがお金持ちになり、彼の奢りで皆がお酒を飲み、酔っぱらいながらこの高専での生活の話に花を咲かせる日が来ることを楽しみにしています。

保護者より

本当の強さと賢さを持って

環境都市工学科 5年
吉田 智咲さんの保護者
吉田 涼子

卒業生・修了生の皆様、最後の3年間は、コロナ禍による突然の休校、慣れないオンライン授業、そして様々な行事の制限などが続き、試行錯誤の中で幾多の困難を乗り越えねばならない、厳しい学生生活だったことでしょう。

人生には予測できない苦難が訪れる時があります。その時に嘆いて立ち止まるのではなく、どうやって乗り越えていこうかという智慧を絞れるかが、本当の賢さであり強さであると思います。そしてこの苦しい時期を、群馬高専のかけがえのない友人や先生と共に乗り越え、今日という卒業の日を迎えられた皆様は、その賢さと強さを武器に夢を決意に変えて、これからの素晴らしい未来を歩んでいけると信じています。

最後に、卒業生・修了生の皆様の輝かしい門出に、卒業生保護者を代表して大きな拍手と声援を贈ります。ご卒業・ご修了、本当におめでとうございます！

卒業生進路一覧

※（ ）内は人数

進 学

群馬工業高等専門学校専攻科環境工学専攻 （6）
福島大学共生システム理工学類
筑波大学理工学部
東京都市大学建築都市デザイン学部
豊橋技術科学大学建築・都市システム学系社会基盤コース （2）
九州大学工学部土木工学科
琉球大学工学部社会基盤デザインコース
文化服装学院
進学希望

就 職

日本ピーエス株式会社
五洋建設株式会社 （2）
西武鉄道株式会社
株式会社夢真
AGC株式会社
独立行政法人水資源機構
波多野調査設計株式会社
NTT東日本株式会社
長野県





人に読んでもらえる文章を書く

専攻科長 大墳 聡

専攻科修了生のみなさん、修了おめでとうございます。ここは、贈る言葉を書くことになっています。普段心掛けていて、みなさんにも役立ちそうなことを思い浮かべたところ、「仕事を早く片付ける」と「人に読んでもらえる文章を書く」でした。心掛けていていつでもできていたわけではなく、この文章も期限ギリギリになってしまいました。

生徒・学生時代は国語全般が苦手でした、書くことも・読むことも。本科1年生の時(私自身高専生です)に担任から「理科系の作文技術」を勧められましたが読む気になりませんでした。私自身が「人に読んでもらえる文章を書く」を気にするようになったのは、科学研究費補助金(科研費)が運よく採択されてからです。科研費は、研究計画調書を作成し、審査され、認められれば助成が受けられるというものです。自分の作文により研究費が増えるのです! 採択されてからは作文技術に関する書籍やサイトはよく読むようになり、連続して数回科研費助成を受けられました。

書籍などを読んでわかったことは、作文で大事ななのは

人に読んでもらえる文章を書くということです。科研費の研究計画調書は、審査員に読んでもらえない(理解されない)計画内容だと助成につながりません。一時期、採択された研究計画調書を読み漁ったことがあります。分野が異なる研究の計画調書では研究内容の詳しいことはわかりませんが、研究期間で何をしようとしているのかは、す〜っと読めるものが多かったです。す〜っと読める文章を作文するための技術的なことは書籍等で確認してください。「まんがでわかる 理科系の作文技術」というものもあります。読みました。科研費に限らず、普段の報告や連絡の文章でもデキル人の文章は読みやすいですし、読みやすい文章を書く人ってやはりデキル人です(す〜っと読めちゃうので確認しないと気づかない)。

大学院に進学して学生を続けるにしても就職して社会人を始めるにしても、報告や連絡の文書作成からは逃れられないと思います。どうせ書くなら読んでもらいたいですよね、デキル人と思われる方がいいですよね。これを機に文書を書く時には「人に読んでもらえる文章を書く」を意識してみてください。絶対将来のためになります。

雲外蒼天

生産システム工学専攻 2年

林 豊樹

専攻科に入学してから早2年、本科のときも合わせると、私たち専攻科生は群馬高専で7年間を過ごしてきたことになります。専攻科に入ってから2年間はとて短く感じましたが、7年という数字は私たちの人生のおよそ3分の1にあたり、それだけの長い時間を群馬高専で過ごしてきたのかと思うと感慨深いものがあります。これまでの7年間では、本当に様々な出来事があったのでここでは割愛させていただきますが、群馬高専での時間は確実に私たちの人生の中でとても大きなものになりました。

群馬高専で良い時間を築けたのは、7年間をともに過ごした同級生の方々、7年間も指導して下さった教員の方々のおかげです。私たち専攻科生は群馬高専を飛び出て、新たな場所に進みます。その先では様々なことがあると思いますが、雲外蒼天という言葉のように、困難があつたとしても乗り越えられるように努力していきたいと思います。7年間、本当にありがとうございました。

保護者より

高専生の誇りと絆を生涯大切に!

環境工学専攻 2年
今井克実さんの保護者

今井 三朗

専攻科を修了する皆さん 卒業おめでとう!

今君たちは7年間の高専生活を終え新たな世界へ旅立とうとしている。君たちは2000年ベビーと言われ多くの期待を背負い時代の大きな変化のなか21世紀の幕開けとともに誕生しました。

そして今2023年、世の中は相変わらず混迷を続け先行き不透明のように思えますが、恐れることはありません。君たちはこの7年間優秀な仲間達と切磋琢磨して最高水準の高等教育を受けてきました。それは何物にも代えがたい貴重な財産です。その経験を活かし、社会に貢献し、さらなるイノベーションを起こすため、未来に向かって羽ばたいていくのです。

しかし、その道のりはいつも平坦とは限らないでしょう。くじけそうになることもあるでしょう。大切なのは高い志をもって一日一日を精一杯に頑張っていくことです。いつも謙虚に挑戦し続けることで道は拓けていくでしょう。

高専生であることの誇りと出会った恩師や仲間たちとの絆を生涯大切に自分の道をまっすぐに歩いていきましょう。

健康と活躍を心よりお祈りします!

修了生進路一覧

※()内は人数

進学

東北大学大学院工学研究科機械機能創成専攻
東北大学大学院工学研究科ファインメカニクス専攻
東北大学大学院工学研究科ロボティクス専攻 (2)
東北大学大学院環境科学研究科先端環境創成学専攻
筑波大学大学院理工情報生命術院システム情報工学研究群情報理工学位プログラム
筑波大学大学院理工情報生命術院数理物質科学研究群応用理工学位プログラム
筑波大学大学院理工情報生命術院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム
筑波大学大学院理工情報生命術院生命地球科学研究群生物資源科学学位プログラム
宇都宮大学大学院地域創生科学研究科社会デザイン科学専攻土木工学プログラム
東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻
東京工業大学大学院工学院機械系 (3)
東京工業大学大学院工学院電気電子系
東京工業大学大学院工学院情報通信系
東京工業大学大学院物質理工学院応用化学系
東京工業大学大学院環境・社会理工学院融合理工学系 (2)
長岡技術科学大学大学院工学研究科工学専攻物質生物工学分野
長岡技術科学大学大学院工学研究科工学専攻環境社会基盤工学分野
北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科先端科学技術専攻
マテリアルサイエンス系サステナブルイノベーション研究領域

就職

奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科物質創成科学領域 (2)
進学希望 (1)
研究生

澤藤電機株式会社 LTCCマテリアルズ株式会社
新潟トランス株式会社 中外製薬株式会社
パナソニックコネク株式会社 東洋インキSCホールディングス株式会社
凸版印刷株式会社 エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社
NTT東日本グループ会社<エンジニア> 富士フィルム株式会社
独立行政法人水資源機構 メタウォーター株式会社
横浜市



学 生 氏 名		卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
青 木	英 喜	チタン合金切削時における加工液の特性について	櫻井・樋口
青 木	美 夢	ヤコビ行列を用いた磁気トルカによる超小型衛星の姿勢制御に関する研究	平 社
赤 石	大 輔	コンベックス材を用いた超小型衛星用アンテナ展開機構に関する研究	平 社
阿久澤	雄 太	機械構造用炭素鋼鋼管の曲げ加工部の応力状態	黒瀬・高山
浅 見	文 香	プラズマアクチュエータ取付位置に応じた翼のはく離抑制効果に関する検討	矢 口
安 保	廣 幸	風レンズを用いた小型垂直軸型風車の風力発電に関する検討	矢 口
新 井	稜 暁	デルタ型パラレルリンクにおける階層構造化に関する研究	平 社
石 川	蓮	砂ろ過機の前次垂注入プロセスにおけるモデリングに関する研究	平 間
市 川	友 己	超精密ステージにおける共振周波数に及ぼす軽量化の影響	櫻井・樋口
今 井	啓 太	AC4B の酸化皮膜に及ぼす陽イオンの影響	山 内
上 田	由 樹	多数個取り射出成形における充填不良に及ぼすランナーの影響	黒瀬・高山
梅 木	鴻	医療応用に向けたファインバブルの特性に関する基礎的検討	矢 口
大 竹	悠 真	周波数安定化光源にむけた外部共振型半導体レーザーの試作	櫻井・樋口
大 槻	夏 鈴	Sn-Bi-Zn および Sn-Bi-Sb 合金組織に及ぼす添加元素濃度と冷却速度の影響	山 内
大 場	玄 翔	コイルを横配置させた電動アクチュエータおよび発電機に関する実験的研究	平 社
大 山	颯太郎	温室ハウス内に設置する温湿度測定用子機の試作	檜 本
小 川	耕ノ介	大型油圧プレス機における配管接合部の強度評価	黒瀬・高山
笠 原	千 暉	Sn-Bi-Zn および Sn-Bi-Sb 合金のm値測定と冷却速度の影響	山 内
剣 持	和 歩	ストラップダウンとステープルプラットフォームを融合させた空間安定装置に関する研究	平 社
齊 藤	浩 輝	X-ray を用いた Al 鋳物の表面残留応力による欠陥検出方法の検討	黒瀬・高山
齋 藤	汰 成	ファインバブルを用いた船舶の抵抗低減に関する実験	矢 口
坂 上	諒	温湿度遠隔測定のためのデータ収集用親機の開発	檜 本
柴 崎	零	双ロール Al 鋳造材の添加元素による表面応力状態の影響	黒瀬・高山
嶋 方	拳	工具ホルダへの制振合金適用による振動低減評価	櫻井・樋口
城	敦 士	Al 合金の酸化皮膜に及ぼす熱処理条件の影響	山 内
高 橋	優 輝	LoRa 通信を用いた温室ハウスデータ通信システムの開発	檜 本
長 井	海 響	ねじゆるみ試験機を用いたゆるみ過程の観察	檜 本
永 井	孝 太	砂ろ過機前次垂注入における残塩濃度制御システムに関する研究	平 間
永 井	翔 也	リンパ管を想定した縮小円管内の流れに関する理論解析	矢 口
沼 尻	怜 良	冷間プレス成形用ボンテ処理の溶媒による表面応力へ及ぼす影響	黒瀬・高山
干 川	隼 正	コーヒー豆の焙煎方法の研究	花 井
増 田	春 日	制振合金を用いた配管の振動低減に関する検討	矢 口
松 井	翼	広角カメラを活用した超小型衛星用姿勢角検出システムに関する実験的研究	平 社
松 永	幸 都	ラグール関数を用いた高次システム同定法に関する研究	平 間
水 野	優 希	PIDaD 補償器における最大感度関数 Ms を用いた派生法の研究	平 間
八木原	蓮	コーヒー豆の焙煎方法と味の成分分析について	花 井
山 崎	岳	セミドライ加工によるボールエンドミル傾斜加工の研究	櫻井・樋口
山 田	倫 香	3D 積層造形による高速空冷金型の開発	黒瀬・高山

学 生 氏 名		卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
相 川	竣 汰	テスラコイルを使用した常時動作型放電素子の作成	市村(和)
青 木	光 星	周波数混合器での使用を想定した各種フィルタ回路の製作	五十嵐
安 藤	包 美	レーザ可視光通信におけるカメラを用いた光軸自動調整システムの開発	佐々木
飯 島	のえる	追尾式発電システムについての検討	中山
今 泉	拓 巳	可視光通信における逡倍法を用いた同期検波回路の FPGA 実装	佐々木
大久保	茉 桜	追尾式発電システムについての検討	中 山
掛 川	竜 希	半導体型ダブルバランスドモジュレーターにおける周波数混合動作の検討	五十嵐
金 谷	拓 海	SIR モデルの離散化	宇治野・高橋
鹿 沼	一 粋	ある種のディオファントス方程式と p 進数体について	谷 口
菊 谷	柊	コンクリートレーダにおけるデータ及び位置情報取得インターフェースの製作	富 澤
草 原	士	RISC-V マイコンへの浮動小数点演算の追加と実装	松 本
黒 岩	太 一	静的マスクと動的切替を組み合わせた高信頼システムの実装	松 本
小 西	響	出席管理システムの開発～ユーザーインターフェース～	布施川
坂 上	文 太	楕円曲線を用いたオイラー予想の反例について	谷 口
榊 原	勇 基	周波数混合型広帯域高周波発振器の動作原理と構成の実際	五十嵐
坂 本	悠 菜	17 種類の文様群について	谷 口
佐 藤	義 明	コンクリートレーダにおけるブリエンファシスフィルタの製作	富 澤
鈴 木	碧 羽	画像処理アルゴリズムの FPGA 実装と高速化	松 本
鈴 木	基 靖	量子断熱計算によりつくられた近似真空の解析	大 嶋
須 藤	雛 子	追尾式発電システムについての検討	中 山
高 橋	陽 太	プラズマの発光計測による状態解析とその 3D モデル化	市村(和)
田 中	蒼 真	レーザ可視光通信のための RTK を用いた高精度位置決めに関する研究	佐々木
富 岡	睦 実	原動機付き自転車用イグニッションコイルを用いた放電素子の製作	市村(和)
箱 崎	結 子	数量化理論を用いたデータ分析	宇治野・高橋
松 本	蒼 生	Arduino スケッチとの連携による LabView からのシリアルデータ駆動型素子コントロールの高速化	五十嵐
三 木	大 暉	GaAs/AlGaAs ヘテロ接合における2種類のキャリアによる電気伝導	平 井
宮 原	陽 来	プラズマの発光計測による状態解析とその 3D モデル化	市村(和)
武 藤	航 平	出席管理システムの開発～サーバサイド処理～	布施川
柳 原	明 良	有機ハロゲン分子の σ ホールに関する研究	塚 原
横 尾	そ ら	モーターを利用した機械式高電圧発生装置の製作	市村(和)

学 生 氏 名	卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
井 澤 慶 広	物体検出による漫画内の感情推定と物語の起伏分析	渡 邊
石 川 聖 幸	近年の前橋市におけるからっ風の分類学的研究	雑 賀
石曽根 光 紀	VR空間における酔いの軽減手法の評価	渡 邊
泉 田 雄一朗	単眼深度推定モデルによる被写界深度調節技法の構築	雑 賀
市 川 創 也	Simplex Noise を利用したマインスイーパーの盤面生成	荒 川
伊 藤 陽 樹	ディジタル無線受信機におけるイメージ抑圧法に関する基礎検討	築 地
入 江 直 幸	AHPを用いた花札ゲーム「こいこい／勝負」の決定	荒 川
内 海 朝 斐	ライブ配信におけるARによる飛び出し表現の試験的実装	渡 邊
大 隅 敬 士	OpenFDTDを用いた環境発電用アンテナの特性解析	築 地
小 澤 晃 生	ワイヤレス電力伝送におけるkQ積と変換効率に関する考察	築 地
加 部 遥	Kautz ダイグラフを用いた超置換の探索	菊 地
小須田 豊 喜	論理回路の確率的テストバリエティの数値計算プログラム作成	大豆生田
小 堀 洋 史	大腸検査ロボットの走行制御	市 村
佐 藤 秋 那	近年の前橋市におけるからっ風の分類学的研究	雑 賀
澤 浦 大 稀	XcodeによるiOS端末での1点式体表点字の実装	大 墳
下 澤 健 太	ゲーム性向上のための大貧民ディール調整の提案	荒 川
千本松 泰 良	集合の演算と連続体の濃度	北 田
高 橋 空 大	ユーザの年齢に応じた情報提示を行う対話システム	川 本
高 橋 南 就	降圧形DC-DCコンバータにおけるディジタル位相補償器に関する研究	築 地
瀧 澤 直 也	音声モーフィングによる印象制御手法の評価	川 本
蓼 沼 匠 弥	全射と単射とエビとモノ	北 田
田 中 英 行	ポートフォリオ理論を用いた最適学習計画の生成	荒 川
長 井 智 彌	からっ風吹走日における気象因子の関係性についての研究	雑 賀
根 岸 直 輝	テンプレートを用いた2次創作プロットのための評価値の提案	荒 川
長谷川 稜	オートマトンを用いた半導体シミュレータの改良	大豆生田
羽 鳥 真 旺	Kautz ダイグラフを用いた超置換の探索	菊 地
深 澤 泰 斗	Azure Kinectを用いた3姿勢での身長計測	渡 邊
蒔 谷 赳太郎	Nintendo Switchによる1点式体表点字システムの機能拡張	大 墳
松 田 将	負帰還によるD級アンプの特性改善効果に関する検証	築 地
若 林 優太郎	批評文自動作成のための俳句分析システム	大豆生田
渡 辺 幸 徒	NDIを用いた低コスト信号変換器の作製	大豆生田

学 生 氏 名	卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
青 木 史幹也		ルカノフ
石 井 沙 耶		中 島
石 上 隆 斗		太 田
小 澤 麻 結		出 口
女 屋 公 輝		友 坂
笠 原 友 香		宮 越
金 子 智 哉		大 岡
栗 原 翔 子		辻
瀬 瀬 遥 香		中 島
近 藤 蒼 衣		友 坂
近 藤 千 月		辻
斉 藤 瞭		太 田
清 水 弥 央		大 岡
鈴 木 駿 太		大和田
高 槻 菜々花	※本ページの卒業研究題目につきましては、知的財産 の観点から非公開とさせていただきます。	中 島
高 橋 佳 那		中 島
高 橋 温 哉		大和田
田 口 亮 伍		ルカノフ
竹 内 大 貴		友 坂
當 間 勇 介		工 藤
都 丸 望		友 坂
中 林 心		出 口
中 村 成 希		工 藤
並 木 彩		宮 越
野 村 修 斗		大和田
野 村 佑 太		羽 切
早 川 純 礼		齋 藤
日 高 美 希		大和田
船 津 ゆ り		太 田
星 名 勇 作		齋 藤
牧 光 孝		工 藤
光 安 広 志		齋 藤
森 田 蒼 典		齋 藤
渡 邊 一 冴		大 岡
渡 辺 結 加		太 田
ア メ ー ル		大 岡

学 生 氏 名	卒 業 研 究 題 目	担 当 教 員
今 井 太 進	ケイ酸を含む人工下水による水処理微生物群への影響	宮 里
大 嶋 遥 斗	マシンガイダンス製品化のための取説作成	先 村
尾 谷 壮 哉	VR 実験による二段階横断施設の交通島形状が利用者不安感に及ぼす影響の分析	鈴 木
小保方 直 輝	群馬県内の利根川上流から中流におけるマイクロプラスチック存在量の把握	宮 里
亀 山 翼	豊浦砂と笠岡粘土におけるO土粒子密度の不確かさ評価	森 田
川 田 帆乃花	バサルト bio-nest による生物処理機能の評価	堀 尾
栗 田 琉 唯	打継ぎ面処理方法におけるせん断強度の相違について	田 中
高 坂 歩 斗	収縮低減剤と膨張材による収縮低減性能と耐凍融融解性能について	田 中
木 暮 悠 暁	橋梁の構造ヘルスモニタリングにおける小型 IoT センサの実証実験	井 上
小 島 隆太郎	可搬型 IoT センサを活用した河川水象のリアルタイム可視化に向けた検討	井 上
酒 井 響	楕円孔および楕円形剛体介在物を有する異方性弾性体の応力・変位解析	木 村
清 水 瑛李花	通電によるアクアリウムの水質制御に関する基礎研究	谷 村
清 水 貴 仁	電動キックボード VR シミュレータによる車道走行時の不安感に関する分析	鈴 木
都 筑 大 生	車載用 LiDAR を用いた測量システム開発	先 村
富 岡 大 翔	もみ殻を用いた新規土壌改良資材開発と雑線虫の推移	青井・宮里
中 島 萌 花	イメージパースを用いた水辺景観認識に関する一考察 ～群馬高専下田池を対象として～	永 野
畠 山 京 士	化学的酸素供給法による水処理システムへの適用評価	堀 尾
服 部 世 那	碓氷川上流域の外來藻類と河床付着生物の評価	堀 尾
福 田 幸 樹	通電による藻類除去効果の持続性について	谷 村
町 田 宇 輝	川場村鳥獣駆除システムの開発	先 村
松 村 康 平	土の液性限界試験における誤差の考察	森 田
八 木 優 駿	応力発光体を用いたコンクリートの曲げ試験におけるクラック計測	木 村
吉 田 智 咲	3次元モデリングと IoT センシングを統合した橋梁のリアルタイム管理システムの開発	井 上
力 石 真 結	人物検出による来訪者データ集計システムの開発に向けた実験的研究	永 野
スフバートル アナラソブド	CG 映像に基づく幹線街路における Walkability 評価に関する研究	鈴 木

学 生 氏 名	課 題 名	サブタイトル	正担当	副担当
生 産 シ ス テ ム 工 学 専 攻	新 井 公 平	マルチスケール熱流動科学	ファインバブルの気液界面に関する分子動力学シミュレーション	矢 口 平 社
	石 井 雄 也	可視光を用いた通信および位置測定に関する研究	可視光通信システムにおけるデータレートの向上	佐々木 松 本
	伊 藤 優 介	産業応用上の制約を考慮した制御技術に関する研究	コイルを横配置させた電動アクチュエータおよび発電機に関する試作研究	平 社 平 間
	岩 瀧 良 太	高信頼性を有する回路・システムの構築に関する研究	画像処理を対象としたソフトウェア・ハードウェア協調設計に関する研究	松 本 佐々木
	岡 崎 涼 太	計算機を用いた統計力学系のシミュレーション	イジング模型に基づく時系列データの解析	高 橋 宇治野
	狩 野 琢 磨	ヒトが扱うメディア情報の認識・統合・合成に関する研究	動画像認識とルールを併用したシーン認識	川 本 大 墳
	桐 生 海	GaAs/AlGaAs ヘテロ構造界面の2次元電子系の電流分布に関する研究	特殊形状試料を使った実験研究	平 井 宇治野
	小 林 拓 海	マルチスケール熱流動科学	輸送機器へのプラズマ・アクチュエータ適用に向けた風洞実験	矢 口 平 社
	嶋 清 花	金属の高温酸化・高温腐食に関する研究	熔融塩腐食に及ぼす Cu 化合物形態の影響	山 内 黒 瀬
	嶋 村 健	産業応用上の制約を考慮した制御技術に関する研究	索状能動体による紐巻付方式の最適把持制御に関する試作研究	平 社 平 間
	清 水 敬 太	マルチスケール熱流動科学	垂直軸型風車のための風レンズの開発と性能向上に向けた検討	矢 口 山 内
	清 水 雅 哉	高信頼性を有する回路・システムの構築に関する研究	ベクトル制御に基づくモータ駆動制御システムの製作及び評価	松 本 佐々木
	鈴 木 颯 太	宇宙機の姿勢制御と軌道解析に関する研究	コイル横配置モータを用いたデュアルリアクションホイールの実験的研究	平 社 黒 瀬
	瀬 尾 翼	エネルギーハーベスティングに関する研究	IoT デバイス用途環境発電アプリケーションの開発	佐々木 築 地
	関 口 賢 太	マルチスケール熱流動科学	プラズマ・アクチュエータを用いた翼周りの流れ制御に関する検討	矢 口 山 内
	関 口 将 護	移動ロボットに関する研究	筋電センサを用いたロボットインタフェースの開発	市 村 川 本
	代 悠 人	多自由度を有するリンク機構の制御に関する研究	位置制御と力制御を最適融合したバイラテラルシステムに関する研究	平 社 櫻 井
	田 中 健 太	最新の工業材料や工作機械を用いた加工技術に関するテーマ	クーラントの摩擦係数によるステンレス鋼の切りくず生成に及ぼす影響	黒 瀬 櫻 井
	富 沢 綾 太	データ解析による光量子科学の統計的研究	宇宙マイクロ波背景放射の諸統計量における解析的研究	渡邊(悠) 高 橋
	萩 原 想 大	宇宙機の姿勢制御と軌道解析に関する研究	極軌道における磁気トルカを用いた超小型衛星の三軸姿勢制御に関する研究	平 社 山 内
	林 豊 樹	最新の工業材料や工作機械を用いた加工技術に関するテーマ	エンドミル用制振合金スリーブの焼きばめ圧力が工具摩耗へ及ぼす影響	黒 瀬 櫻 井
環 境 工 学 専 攻	山 崎 太 雅	先進材料の損傷強度に関する研究	金属精層技術を用いたプレス金型のメルト領域が CFRTP 成形品の強度に及ぼす影響	黒 瀬 高 山
	吉 野 主 晃	固体表面と表面に吸着した原子分子の電子状態に関する研究	Pb(111) 表面上の 1, 3, 5- トリス (4- プロモフェニル) ベンゼン (TBB) 分子膜の構造に関する研究	五十嵐 塚 原
	井 澤 亮 介	地盤の地震応答特性に関する研究	地盤剛性が免震橋梁の損傷に及ぼす影響	森 田 井 上
	今 井 克 実	地盤の地震応答特性に関する研究	2018 年インドネシア・スラウェシ島地震による大規模長距離地盤流動の誘因に関する解析的検討	森 田 井 上
	今 井 啓 太	高容量のエネルギー貯蔵用材料に関する研究	金属ナノ粒子を固定したカーボンナノチューブを用いた熱発電電材料の作製	太田(道) 出 口
	江 澤 喜 朗	高容量のエネルギー貯蔵用材料に関する研究	膨潤多孔質炭素に半金属ナノ粒子を内包する機能性エネルギー貯蔵材料の検討	太田(道) 出 口
	枝 怜	社会基盤を脅かす問題に向けた微生物利用による解決法と関連微生物の解析	シリカが活性汚泥中の微生物叢および処理性能に及ぼす影響の解明	宮 里 堀 尾
	金 庭 みなみ	機能性無機有機複合材料の開発および活性評価	開環重合によりポリマー被覆した MOFs- ポリマー複合材料の耐水性評価	齋 藤 羽 切
	高 瀬 峻 汰	機能性無機有機複合材料の開発および活性評価	金属ナノ粒子を固定化した金属有機構造体光触媒の開発	齋 藤 羽 切
	舘 野 瞬	生物機能を活用した生物資源の高度利用に関する研究	未利用コンニャク資源からの生分解性ポリマーの発酵生産および微生物による分解	大 岡 宮 越
	都 築 直 仁	自然および生活環境を脅かす問題の発生要因の解明と解決法の検討	農業の課題解決に向けたバイオマスの新規有効利用法の検討	宮 里 堀 尾
	永 井 梓 織	生理活性が期待される有機化合物に関する研究	タンパク質との相互作用が期待される有機化合物の創製	大 岡 工 藤
	東 崎 瑞 己	高容量のエネルギー貯蔵用材料に関する研究	半金属を内包する高容量負極電極の作製	太田(道) 出 口
	福 島 希	真核微生物を用いた外来遺伝子導入法と発現システムに関する研究	植物寄生性線虫被害防除への線虫の遺伝子工学的解析	大和田 宮 越
	松 本 安祐美	流れによる輸送プロセスを考慮した流域管理手法の構築に関する研究	正観寺沼に流入する水路の調査と土砂堆積特性の評価に関する研究	永 野 宮 里
	諸 田 有希奈	有機物を主体とした結晶粒子群の製造と評価に関する研究	懸濁型冷却晶析でのスケール形成への結晶粒子群特性と懸濁量の影響	出 口 太田(道)
	矢 端 竜乃介	地形・地質条件の違いを考慮した土石流による流路変動評価手法の開発	平成19年9月台風9号により発生した土石流災害の特徴について	森 田 永 野
	山 居 洋 介	流量変動が河川環境に及ぼす影響の検討と評価手法の開発	閉鎖水域内のアオコの動態と抑制及び除去手法の検討	堀 尾 永 野

教職員からはなむけの言葉

Live and learn! There are two sides to everything.
Look at the bright side of things.
Nothing is better than a contented mind.

卒業おめでとう! 1、2年生のとき授業で教えたことわざ名言を適当に並べてみました。

覚えてるかな? 忘れてたら、よく復習して、これからの人生に役立ててください。Be happy!

(一般教科(人文科学)教授 横山 孝一)

新たな門出を心よりお祝い申し上げます。

これからも高みを目指して歩み続ける皆さんを陰ながら応援しております。

ちょっと疲れたときなどは、ぜひ高専に遊びに来てください。

またお会いできる日を楽しみにしております。

(機械工学科 准教授 矢口 久雄)

ご卒業・ご修了おめでとうございます。

本学に入学しての5年間、7年間は、思えば、あっという間だったと思いますが、確かに、皆さんはゆるぎない基盤を築いたことでしょう。この基盤をもとに、さらなるご活躍をされることを期待しています。

(電子情報工学科 教授 雑賀 洋平)

新たな道を切り開け!

卒業おめでとうございます。

どんな高専生活でしたか。

楽しいこと、辛いこと、いろいろあったかと思いますが、まだ道半ば、積極的に進んで新たな人生を切り開いてください。人への感謝を忘れず、今という時間を大切に!

(環境都市工学科 教授 堀尾 明宏)

ご卒業おめでとうございます。

みなさん、5年間よく頑張って、見違えるほど成長したことでしょう。

ただ、人生は長期にわたる持久戦です。自分の人生のテーマをもって、じわりじわりと着実に前に進みましょう。

(一般教科(人文科学)教授 宮川 剛)

卒業・修了おめでとうございます! 私は10年前に専攻科を修了しましたが、高専の7年間で今の自分の基礎になっていると日々実感しています。皆さんも高専での経験を活かし様々なことにチャレンジしてください!

(機械工学科 講師 高山 雄介)

卒業・修了はあなたたちの成果です。誇れることです。でも、それは保護者をはじめとする周囲のサポートがあっての卒業・修了です。このことを忘れないでください。周囲への感謝の気持ちをもって次のステージで活躍してください。卒業・修了、おめでとう。

(電子情報工学科 教授 菊地 洋右)

卒業生・修了生の皆さん、ご卒業・ご修了おめでとうございます。

皆さんは今日高専を巣立っていきますが、ともに学んできた仲間との絆を大切に、素晴らしい人生を歩んでください。

(環境都市工学科 准教授 谷村 嘉恵)

旅立ちの日、ご卒業おめでとうございます。

基礎がないとどんな才能も開花することはない。高専生活で基礎は身に付いただろうか。終わったことに拘ってこれからの明るい未来を無駄にしてはいけない。自分を見失わず、謙虚にそして環境に柔軟に対応して生きていってもらいたいと願います。

(一般教科(人文科学)准教授 佐藤 孝之)

この度はご卒業・ご修了おめでとうございます。大変だった高専生活を乗り切ったという自信をもって、これからも色々な事へ挑戦していただけたらと思います。皆さんのこれからのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

(機械工学科 助教 樋口 雅人)

所定の単位を修得し、立派に卒業研究発表を終え、今日皆様は無事に卒業を迎えました。

ご卒業おめでとうございます。社会環境の大きな変化に対応しながら学問を修められた皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

(電子情報工学科 講師 築地 伸和)

人は、“行動を起こさない”から“できない”、という言葉があります。行動しないで後悔するより、一所懸命に実行しましょう。“何事も為せば成る”です。たとえ失敗しても、あなたの将来に繋がる貴重な経験になります。

(環境都市工学科 准教授 宮里 直樹)

ご卒業・ご修了おめでとうございます。1年生から最終学年まで授業や卒業研究等でお付き合いしてきた最後の学年でもあり、感慨深いものがあります。皆様がそれぞれの進路で、健康で活躍されることをお祈りしています。

(一般教科(自然科学)嘱託教授 宮越 俊一)

入学時の熱い思いが結実して皆さんは今日この日を迎えました。

これまでの努力過程を祝福します。そしていま、ふたたびこの瞬間の心象を心に深く刻んでください。

それは次のステージでの活力となることでしょう。

(電子メディア工学科 教授 五十嵐 睦夫)

卒業・修了おめでとうございます。

みなさん、卒業・修了を迎えた自分自身を誉め称え、誇りを持ちましょう。そして、その誇りに恥じることなく前進し、羽ばたいてください。ご活躍を楽しみにしています。

(物質工学科 教授 友坂 秀之)

森羅万象に多情多恨たれ 開高 健

要は何にでも興味をもって、多少後悔しても何でもやってみましょう、ってことです。

失敗を過度に恐れて前例踏襲チャレンジなしを繰り返した結果が今の日本の停滞です。

卒業おめでとうございます。行動的でそして優しい大人になってください。

(教育研究支援センター 技術職員 浅見 博)

卒業生・修了生のみなさんの栄えある門出を、こころよりお祝いたします。本校での学びの日々が、みなさんのこれからの歩みを勇気づける力となることを祈ります。

(一般教科(自然科学)教授 宇治野 秀晃)

ご卒業おめでとうございます。それぞれの進学先、就職先で活躍することを期待しています。親許を離れて一人暮らしを始める人も多いはず。大変なこともあります。人生で一番貴重で楽しい時期を謳歌してください。

(電子メディア工学科 教授 佐々木 信雄)

卒業生・修了生のみなさん、本日はおめでとうございます。

これまでのみなさんの努力で卒業・修了という花を咲かすことができたと思います。これからはそれぞれの道で、もっと大きな花を咲かせてください。これからも応援しています。

(物質工学科 教授 出口 米和)

卒おめ、あるいは、修おめ

隣の太陽系まで約4光年、ボイジャーで約8万年銀河を旅するには未知の技術か法則が必要かとしま、皆さんのこれからの活躍を期待するます未来! 最高!w

(教育研究支援センター 技術専門員 森田 真司)

ご卒業おめでとうございます。コロナ禍による「不完全燃焼」を感じる学生生活だったかもしれませんが、人生これからは本番です。何気ない毎日を大切に積み重ね、充実した人生を創り上げてください!

(一般教科(自然科学)准教授 高橋 徹)

ご卒業おめでとうございます。環境の変化が著しい昨今、高専の学習に加えて、卒業後に学び続けることが重要になります。常に自分をアップデートし続けていただければと思います。皆様のご活躍を祈念しております。

(電子メディア工学科 准教授 松本 敦)

ご卒業おめでとうございます! 高専卒業という節目を迎えて、これまでがんばってきた自分をたくさん褒めてあげましょう。これまで支えてくれた友人や家族に感謝しましょう。卒業後も応援しています。がんばってください。

(物質工学科 准教授 大岡 久子)

ご卒業おめでとうございます。

入学してから5年間・7年間は、思い返せばあっという間だったと思います。

進学先・就職先でも健康に気を付けて頑張ってください。

(教育研究支援センター 技術職員 中澤 将大)

退任挨拶

やり残した仕事を特命教授期間で
発展できました

環境都市工学科 特命教授 青井 透

私・青井は水処理メーカーから平成6年度土木工学科教授として採用され、以降衛生工学分野の教員として多くの学生と群馬高専の環境改善に取り組みました。ヘドロで埋まる西湖を見て解決策を考え、水を抜かずヘドロだけを浚渫し培養土として利活用する底泥資源化工法を開発し、県内下水処理施設から発生する余剰汚泥が全て納豆菌優占化していることを見つけては、納豆菌を有用菌として活用した土壤改良資材は化学農業を用いること無しに連作障害が抑止できることを確認しました。

特命教授として10年間延長を頂き、やり残した納豆菌農業利用で各種作物への効果を検証しました。特産コンニャク芋で抑止効果が確認できた後は、ブロッコリ・ネギ・苺・バナナで確認できました。これら成果は卒研の学生さん・苺バナナを紹介してくれた卒業生Aさん、ブロッコリ畑ではT・H君等との協同の結果です。大変お世話になりました。



素晴らしい学生との出会いに感謝

一般教科(自然科学) 教授 谷口 正

群馬高専には17年間お世話になりました。振り返ってみると学生の皆さんには私自身、たくさんの勇気を頂きました。また学生諸君と出会ったことによっていろいろなことを学ばせて頂きました。授業を担当した学生、担任を持った学生、学生相談室で知り合った学生、卒業研究の学生など今になってはみんな素晴らしい学生でした。勉強が得意な学生もあり得意でない学生も皆、一人ひとり素晴らしい個性をもっています。その個性を活かして自分の目標に向かって突き進んでください。皆さんには素晴らしい未来が待ち受けています。誠実な心をもって努力を続けて下さい。私は今後より一層数学研究に精進していこうと思います。教職員の方々も含めて皆さん、たいへんお世話になりました。



退職のご挨拶

環境都市工学科 准教授 鈴木 一史

長らくお世話になった群馬高専を退職することとなりました。振り返ると今から8年前、採用面接のために新前橋駅で電車から降り立とうとしたとき、自分のところだけ自動ドアが開かず、故障と思って別のドアを探したことが、つい昨日のことのように思い出されます。故障ではないと知ったのは、それからだいぶ時間が経ってからのことでした。以来8年間、ここまでやってこれたのも、環境都市工学科の先生方をはじめ、群馬高専の教職員、学生、保護者の皆さまのお陰と感謝申し上げます。

担任をしていた環境都市工学科3年生の皆さん、卒業まで見届けることができずごめんなさい。退職することになった理由は、社会見学旅行の行き先が、私がおすすめした名古屋でなかったからではありません。皆さんが将来それぞれの道で活躍されることを願っております。最後になりますが、群馬高専の今後をますますのご発展を祈念いたします。ありがとうございます。



またどこかでお会いしましょう

一般教科(自然科学) 助教 延東 和茂

2021年4月に群馬高専に着任し、あっという間に2年が過ぎてしまいました。私にとって高専は未知の世界で、着任前には不安が大きかったのを覚えています。自分自身が学生時代に学校の先生に対して生意気な態度をとっていたこともあり、学級崩壊が起こるのではなどと心配していました笑。着任後はむしろ、学生の皆さんのおおらかな雰囲気と社会性の高さに驚きました。またそのような雰囲気の中で皆さんに数学をご紹介することができたのは本当に楽しかったです。

私は授業において、数学は皆さんにとって重要だということを言ってきました。工学系の学問を修めるために数学はもちろん重要ですが、本音を言うと、皆さん一人一人の人生にとって数学が重要であるかは、皆さんが自由に決めることです。皆さんには是非とも、卒業に必要なことから、将来必要だからといった理由ではなく、興味の赴くままに好きなことを究めいただき、それを社会に還元することで面白い世の中を作っていただきたいと勝手に期待しています。

それではまたどこかでお会いできるのを楽しみにしています。さようなら。



9年間お世話になりました。

教育研究支援センター 技術職員 黒澤 拓未

中学3年生の時に塾で群馬高専って名前を初めて目にした時に、なんだかよくわからないけど面白そうって思ったのが私と群馬高専の出会いです。野球部も弱そうだし、なんとなく入るなら機械系かなという軽い気持ちで入学を決めました。部活は一生懸命でしたが、勉強は・・・な学生でした笑。それでもこうして大学や民間企業での経験を生かして学生の成長に携わることができ、15歳の時に群馬高専の機械工学科を選んでよかったと思っています。学生時代にお世話になった先生や技術職員の方々をはじめ、学校関係者の皆様のおかげで4年間勤務することができました。感謝申し上げます。すれ違ったら挨拶してくれたり、他愛もない話に付き合ってくれたり学生にも恵まれて楽しい毎日を送ることができました。いい思い出がいっぱいです。またどこかで会ったときは恥ずかしながら声をかけてください。今までありがとうございました。



学生会新役員紹介

学生に寄り添える学生会執行部を目指して

2年1組(K) 中村 悠世

来年度学生会会長を務めさせていただきます、物質工学科中村悠世と申します。副会長は、電子情報工学科の原野恋羽、環境都市工学科の高橋凌大が務めます。学生会は活動や行事が行われる際に、皆様を繋ぐ架け橋となる組織です。その中心となる会長という立場になり、リーダーとして活動していくことに対して責任を感じると同時に期待に胸を膨らませています。これから学生の皆さんに寄り添い、耳を傾け、小さなことからコツコツと実行できる学生会執行部を目指して頑張りたいと思っています。新型コロナウイルスが今後どうなるかはまだ分かりませんが、その時できる最善を尽くし、学生の皆さんのことを一番に考えて活動したいと考えています。また、今の学生会があるのは、これまで学生会を支えてくださった先輩方や先生方のおかげです。本

当にありがとうございます。最後に、皆様の期待に応えられるよう精一杯活動して参りますので、応援よろしくお願ひします。



アイデア対決・全国高等専門学校 ロボットコンテスト 2022

全国大会ベスト4!

ロボット研究会 3M 滝谷 優太

本研究会は11月27日に両国国技館で開催された「アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト2022全国大会」に出場しました。テーマは「ミラクル☆フライ～空へ舞いあがれ!～」。ロボットが紙飛行機を飛ばし、様々なオブジェクトへ載せることで得点を競う対戦形式です。Aチームは関東地区大会において13年ぶりに優勝したこともあり全国大会でも優勝を狙おうと意気込んでいました。全国大会までの準備期間は、発射機構の連射性能向上や戦略の修正、紙飛行機を約3600枚作成するなど多忙を極めました。

ロボコン本番では少々トラブルに見舞われたものの、順当に試合を勝ち進めることができました。結果、ベス

ト4という戦績を残し、過去の最高記録であるベスト8を更新することができました。来年度も引き続きロボコンで好成績を残せるように活動していこうと思います。



関東信越地区高等専門学校 英語弁論大会

レシテーション部門 2位

英語が話せるようになるには

3K 坂地 悠太

英語ペラペラになりたい、でも人前で話すのは恥ずかしい。そう思っている人は多いのではないのでしょうか。実は僕もその一人です。授業中は「ウォーター」だけど、自分の部屋で洋楽を歌っているときはちゃんと water になっている。ほんととはもうまく言えるのに人前だとなんか恥ずかしい。でも、その気持ちが実は英語上達の一番の妨げになっているのではないかな。そう感じた僕は、現状から脱却すべく弁論大会参加を決意しました。

実際に約半年間の練習と英語弁論大会を経験して学んだことは、英語は人前で自信をもって話すことで初めて話せるようになるということです。だから逆にいえば自分の部屋で歌っている洋楽がどんなにうまくても、人前で恥ずかしがってカタカナ英語になってしまうのは英語が話せるとは言えないし、上達しないということです。これからは、もっと自分の英語に自信をもってたくさんの人と英語で交流していきたいと思っています。



レシテーション部門 3位

英語弁論大会に出場して

2年3組 (M) 伊勢 元春

令和4年11月12日に英語弁論大会が行われ、3位になることができました。出場する部門は2つあり、スピーチ部門とレシテーション部門があります。私はレシテーション部門に出場しました。レシテーション部門では、読みたい英語の原稿を決め、発音の良さや表現力などを審査される部門です。

発表した内容は、「Comprehensible Input: Factors that Relate to Success in Language Acquisition」です。

私は元々英語の発音や表現力に自信がなく、大会で賞をとる力があるか不安でしたが、伊藤先生や、その他の先生方にご指導いただき、大会で入賞することができました。

この大会で、英語に対する理解が深まると同時に、授業で補いつらい「話す力」が少しついたと思います。とても良い経験になりました。



吹奏学部 定期演奏会

“第60回”定期演奏会

3C 田村 泰祐

昨年末の12月18日、昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）にて第60回定期演奏会を行いました。たくさんの方にご来場いただき、終演まで見守ってくださったことに感謝の気持ちでいっぱいです。

今年度は、8人の新入部員を迎えて合計18人で力を合わせて定期演奏会を開催しました。また、今年度より主に金管楽器を指導して下さっている外部講師の先生にも演奏会にご参加いただき、定期演奏会を盛り上げていただきました。そのおかげで、今回の演奏会は部員たちにとってとても有意義で、楽しいものになったかと思います。

また去年は、吹奏楽部の第一回定期演奏会の開催から60年目の年だったのですが、他の高校や大学の吹奏楽部と比べても60年という長い歴史のある吹奏楽部はなかなかありません。それほど長い歴史の一端を担えたことをとても誇りに思います。

来年度は定期演奏会以外にもたくさんのイベントに参加する予定ですが、一緒に活動してくれる新入部員を常に募集しています。皆さんも私たちと一緒に新たな歴史を作りませんか？



全国高等専門学校デザインコンペティション

構造デザイン部門

紙とボンドで50kgに耐える?!

構造デザイン研究会 4C 佐竹 海聖

令和4年12月10日、11日の2日間、福岡県の大牟田文化会館に第19回全国高等専門学校デザインコンペティション（通称デザコン）が開催されました。今年は初の二体構造による載荷実験であったため、前例がないことで苦戦することも多々ありました。しかし、部員をはじめ様々な方からの協力・助言等々によって出品が実現しました。出品した橋では、破壊モードの分析による補強や、余剰部材の軽量化などにより50kgの耐荷重を想定した橋を作成するこ



とに成功。しかし当日、載荷時の座屈に耐えられず30kg時での落橋という結果となってしまいました。来年もこの経験を糧に例年と同様、上位入賞を目標に活動していきます。

トビタテ!留学 JAPAN 報告

「トビタテ留学」を終えて

5E 高橋 陽太

皆さんは、「トビタテ!留学JAPAN(以下トビタテ)」という留学支援プログラムを知っていますか？私は10月からの2か月間、この制度を利用してオランダを主としたヨーロッパ各国へ留学に行ってきました。留学の目的は「核融合発電」の実現！未来のエネルギーである核融合を探索するために、オランダのアイントホーフェン工科大学にて「研究室インターン」を実施し、イギリスの研究機関CCFE主催の「サマースクール」へ参加、さらにドイツの「Wendelstein7-X」及びフランスの「ITER」といった各地の有力な研究所を見学してきました。もちろんこれらの経験は非常に有意義でし、記憶にも強く残っています。しかし、最も強く残っている留学の思い出といえば、やはり留学準備時から続いた「絶望の日々」と言わざるを得ません。新型コロナによる留学延期に歴史的な円安やウクライナ戦争による燃油高、日本人が周りにいない中で起きた留学中の様々なトラブルはこの世の終わりかと思うほどの辛さでした。しかし、そうした日々を無事完遂できたのは、現地の人々の優しい手助けのおかげであり、何より自分自身が強い気持ちを持てたためだと考えています。トビタテの留学は全て自分自身で計画しなければならぬ以上「絶望」を感じる機会が多くあります。しかし、それゆえに私自身が大きく成長できたのだと思います。「また海外に行きたい!」、トビタテ以外の留学ではきっとこう考えることはできなかったと今でも強く確信しています！



留学生研修旅行

スキー・スノーボード・温泉を体験!

一般教科（自然科学） 准教授 渡邊 悠貴

3年ぶりの留学生旅行開催となったため、どの学生も初めての参加となりました。今年は日帰りでしたが、水上の宝台樹スキー場にてスキー・スノーボードを楽しみました。雪が降っているけれど、陽は出ていて風も穏やかでとても良いゲレンデの状態でした。インストラクターに基本を教えてもらい、すぐに実践して滑れるようになった人や初めての体験で中々苦戦していた人もいました。ラオスは暑いので標高の高い山でも雪が降らないことや、モンゴルでは冬はマイナス50度にも達するといった話もしていました。卒研発表や定期試験を控えた時期に、笑顔を輝かせて良い気分転換ができたようでした。

スキー場を後にして、鈴森の湯へ移動し温泉を堪能しました。ほとんどの留学生が初めての温泉体験でしたが、日本の文化に興味深く感じていたようです。将来、群馬での滞在を思い出すとき、スキーや温泉の文化を想起してくれることを願っています。留学生のみならず、また機会があれば一緒に滑りに行きましょう！



ニュース&トピックス

ひらめき☆ときめきサイエンス

目に見えない小さな分子の動きを
コンピュータで見よう

機械工学科 准教授 矢口 久雄

日本学術振興会の「科研費」による研究成果を社会に還元することを目的とした「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI」に採択され、令和4年12月26日(月)と12月27日(火)に体験学習イベント「目に見えない小さな分子の動きをコンピュータで見よう」を開催しました。分子動力学シミュレーションによって様々な現象を分子レベルから理解するアクティブ・ラーニングに加えて、風洞実験やレーザ加工などの体験学習を実施しました。高専での研究や実習の雰囲気を肌で感じていただくとともに、実施協力者である高専生との交流も楽しんでいただくことができました。当日は、研究室所属の専攻科生たちや教育研究支援センターの浅見様に大変お世話になりました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



スマートサイエンススクール(SSS)

参加された中学生のみなさんに
支えられて

出口 米和

令和4年度のスマート・サイエンス・スクール(SSS)についてご報告させていただきます。今年度もSSS実施にあたってはコロナウイルスの影響が心配されました。そのため、例年とは異なって実施期間を短くしたスケジュールを計画いたしました。しかしながら、結果的には感染状況を鑑みて、開校式と成果報告会・閉校式の両方を実施しないSSSとなってしまいました。このような状況にも関わらず、参加を申し込んでくださった生徒さん達がいっぱいいました。関係の方々ともご相談し、安全に配慮した形で参加を希望して下さった中学生のみなさんと実験を実施しました。日程的には短い期間でしたが、内容や回数としては、これまでと同じくらいの実験をすることができました。また、参加者のみなさん一度も欠席することなく毎回出席していただきました。参加して下さった中学生のみなさんに支えられているSSSであることを大いに実感したSSSとなりました。

最後になりますが、参加して下さった中学生のみなさん、実験指導を行って下さった先生、実施にあたってご協力くださった全ての方々に厚くお礼申し上げます。

令和4年度 群嶺テクノセミナー

研究での先生はちょっと違う、
研究での先生は光ってる♪

地域連携テクノセンター長 市村 智康

群嶺テクノセミナーは、群馬高専の教員を講師に迎え、人文科学、自然科学をはじめ、機械工学、電子工学、情報工学、物質工学、環境都市工学などにおける多種多様なテーマの講演を開催してきました。残念ながら、過去2年間は新型コロナ感染症の拡大状況を考慮しつつ結果的に年1回の実施となりました。しかし、令和4年度は感染拡大防止と社会経済活動との両立のための「新しい生活様式」に沿う形で、後期から例年の頻度で開催することができました。第1回の小菅先生、延東先生のご講演では、お二人の講師に在校生を交え、分野を越えての楽しい質疑応答となり大変盛り上がりしました。また第2回の羽切先生のご講演では、幾度の失敗から新しいアイデアが生まれたという先生のポジティブ思考を感じることができました。また、今後開催予定の菊池先生のご講演も、とても興味深いお話になるのではないかと期待しております。

	セミナータイトル	講師	年月日
第171回	日本語の複雑述語と格交替に関する通時的統語論	一般教科(人文科学) 講師 小菅 智也	10月7日
	確率的離散数理モデルとその対応可能性について	一般教科(自然科学) 助教 延東 和茂	
第172回	生体高分子を活用した分離材料・分析技術の開発	物質工学科 准教授 羽切 正英	12月9日
第173回	グラフアルゴリズムとネットワーク	電子情報工学科 教授 菊地 洋右	2月17日

生物教育研究連携講演会

第15回生物教育研究連携講演会
ー生物とエネルギーそして石油ー

地域連携テクノセンター 副センター長 宮里 直樹

地域連携テクノセンター生物教育研究連携会議では、「生物」をキーワードとして、学科を超えた連携や地域との連携を通じた教育研究を推進しています。今回は、株式会社 INPEX ソリューションズ技術推進部の稲場士誌典氏を講師に迎え、『生物とエネルギーそして石油』と題したご講演を行っていただきました。

この数年、脱炭素社会の形成に注目が集まっていますが、令和4年に入り石油価格が高騰しました。化石エネルギーの重要性が再認識されていると感じ、改めてエネルギーについて学ぶことで、気候変動に対して私たちが取り組むべきことが再認識できるのではないかと考えました。そこで、稲場氏にご講演をお願いすることになりました。石油を代表とする化石エネルギーと生物との関りが講じられ、学校内外からの参加者は興味深く聞き入っていました。ご講演後に行われた質疑応答でも参加者から様々な質問が出され、活発な意見交換が行われました。



寮 祭 報 告

寮祭スポーツ

3J 三井 知世

今年も寮祭スポーツが開催されました。去年は2日間だったのが1日のみという限られた時間で、例年のように、ドッジボールやバスケットなどのスポーツを行いました。

急な実施の連絡で参加する人が少なからず不安でしたが、3年以下のほとんどの人が参加してくれました。学年関係なく楽しんでいる様子が見られ、とても盛り上がり、写真を撮るのを忘れてしまいました笑。普段からの関わりがあまりない人同士の絡みもあり、先輩後輩と交流できる良い機会だったと思います。

一昨年と昨年に続いて寮祭が開催されていないため、来年には開催されることを期待しています。今回の寮祭スポーツのようなイベントで、他学年の寮生と関われる場がもっとできるといいなと思いました。

SAMCON2022「IEEJ industry Applications Soccciety
Excellent Presentation Award」受賞

IEEJ 部門優秀論文発表賞の受賞にあたって

1AP 齊藤 創

この度私は2022年3月8日から10日にかけて開催されたThe 8th IEEJ international workshop on Sensing, Actuation, Motion Control, and Optimization (SAMCON2022)にて IEEJ Industry Applications Society Excellent Presentation Award (部門優秀論文発表賞)を受賞させていただきました。

今回発表させていただいた研究では、超小型衛星(CubeSat)のための磁気トルカを用いた姿勢制御方式について取り扱っています。現在 CubeSat の開発は、開発期間が短く開発コストが抑えられる反面、機装スペースや電力供給に関して厳しい制限を受けています。本研究を通して、新形状の磁気トルカによる超小型衛星の姿勢制御手法を普及することができれば、CubeSat 開発の裾野拡大につながるだろうと考えています。

最後に、今回受賞するにあたり、実験や論文の執筆作業をお手伝いいただいた先輩方や指導教員である平社教授には深く感謝申し上げます。



【日本高専記録更新】女子10km

今回こそは

3C 金子 美乃莉

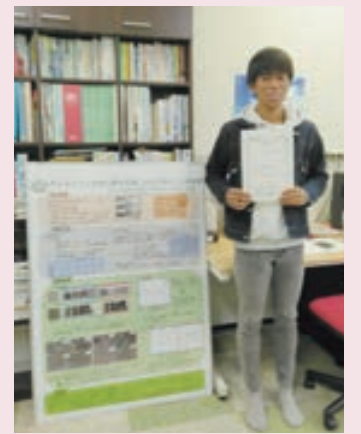
11月3日に開催された群馬マラソンの女子10kmに参加しました。そこで日本高専記録を更新し、目標であった40分を切ることができました。前回も参加しましたが、良い記録を残すことができませんでした。今回は1人で参加したのではなく、妹と一緒に参加しました。そのため、メンタル面でとても支えられ、レース前半ではペースメーカーとなってくれて、とても走りやすい環境にありました。大会前は家族が練習に付き合ってくれたり、当日は応援に来てくれたり、たくさんの面で支えてもらいました。今回、記録を更新してその恩返しをすることができてとても嬉しいです。ストイックに練習して、今回の記録を更新できるようにこれからも頑張ります。

第19回ヤングメタラジスト研究交流会
「優秀ポスター賞」受賞

大学生なんて大したことない

5M 今井 啓太

令和4年11月9日(水)に日本金属学会関東支部主催のヤングメタラジスト研究交流会が東京工業大学・大岡山キャンパスでありました。私は「アルミニウム合金の酸化皮膜に及ぼす陽イオンの影響」と題してポスター発表を行ってきました。周りは、研究機構の方、企業の方、修士2年、学士4年と自分より経験値が豊富な方が多くとても緊張しましたが、これまで積み上げてきた研究の成果を発表することが出来ました。大学生、大学院生の質問・発表はレベルが高く、刺激的で貴重な経験をすることができ良かったです。また、多くの大学生、大学院生がいる中で3件の優秀ポスター賞の3人に選ばれたことは素直に嬉しく、日頃からご教授頂いている山内先生に感謝しています。



ニュース & トピックス

日本福祉工学会 第26回学術講演会
「優秀発表賞」受賞

日本福祉工学会 第26回学術講演会
「優秀発表賞」受賞について
1AP 森川 結菜

日本福祉工学会第26回学術講演会にて、「優秀発表賞」に
選定していただきました。

本研究室では、点字情報を振動により提示し触覚によりそ
の情報を読み取る体表点字システムを開発してきました。今
回は振動の知覚位置として足裏を使用するために、その触覚
認識特性の調査を行いました。正答率や回答時間などから、
つま先側とかかと側が速く正確に知覚することができると分
かりました。今後は、この2箇所を採用した体表点字システム
の開発に取り組むことや、振動以外での情報伝達手段の検討
を考えています。

本研究の遂行にあた
り、指導教員として日頃
よりご指導いただい
ている大墳先生、実験に
ご協力いただいた学生
の皆様は心より感謝い
たします。



関東磐越地区化学技術フォーラム
「優秀ポスター賞」受賞

「ここにタイトルを入力」

5K 中村 成希

この度、関東磐越地区科学技術フォーラムにて「芳香族層状
ウレアを基本骨格としたチオウレア触媒の創製」というテーマ
で優秀ポスター賞を受賞しました。

おそらくこの結果になった一番の要因は、初めにポスターを見
に来て下さった先生から「君のやりたいことがまるで伝わってこ
ない」「もっと自分のやったことをアピールした方がよい」などのア
ドバイスの他に発表に関する具体的なご指摘を頂き、それを当日
中に発表に活かす機会を貰えたことだと思います。とても感謝し
ています。また他高専
や大学の先生、学生と
ディスカッションしたり、
質問できたのは大きな
刺激になりました。

この研究には未だ改
善しなければならない
ことや試してみたいこと
がたくさんあり、後悔の
ないように頑張りたいで
す。



日本化学会関東支部群馬地区 研究交流発表会
「ポスター賞」受賞

機会は見す見すdismissしないで

5K 牧 光孝

この度、上記の発表会にてポスター賞を受賞いたしました。
今回はZoomの画面共有を用いてオンラインで開催され、大
学院生を主として学部生、高専専攻科生、高専本科生の計53
人の学生と16人の一般の研究者が発表に参加しました。

私は「トリペプチドを連結した芳香族層状ウレアの合成」と
題して、らせん分子をタンパク質の一部であるペプチドと連結
する研究について発表しました。

この一年間研究を進めていく上で、本科だけで研究成果を
挙げるというのは容易ではないと感じました。そのため今回
このような賞をいただくことができたのは、質疑応答で納得し
てもらえるような回答をよどみなくできたことが大きいと考え
ています。

そのような学外の先生方
や学生からの質問やアド
バイスは、これまで思いつかな
かったようなことが多く、自
分の未熟さを感じるとともに
今後のモチベーションとな
りました。



日本塑性加工学会新進部会ポスター発表
「優秀賞」受賞

日本塑性加工学会2022年度
若手学生研究交流会にて優秀賞受賞

5M 山田 倫香

令和4年12月19日に開催された日本塑性加工学会関東3支
部新進部会合同 2022年度若手学生研究交流会にて優秀賞を
受賞しました。北関東、南関東、東関東の3つの支部の若手が会
して開かれました。

今回の交流会では中間発表までの約半年間の研究成果をポ
スターにまとめ、オンライン形式で発表しました。外部での発表
は今回が初めてだったのでとても緊張しましたが、様々な大学の
先生方や学生、企業の方々からお褒めの言葉やアドバイスをい
ただくことができ、充実したものとなりました。しかし、同時に自分
と他の参加者の方々とのレベルの差を強く実感しました。

研究を始めてからの半年間、
丁寧なご指導をくださった
黒瀬先生と高山先生、そして
日々一緒に研究に励んだ材料力
学研究室の先輩や同期に感謝
申し上げます。今後も今回の経
験と反省を活かして研究に励
み、積極的に学会等に参加して
いきたいと思っています。



令和4年度 学生表彰者一覧

1. 学業成績優秀賞(本科卒業生)

氏 名	学 科 名
今 井 啓 太	機 械 工 学 科
箱 崎 結 子	電 子 メ デ ィ ア 工 学 科
井 澤 慶 広	電 子 情 報 工 学 科
竹 内 大 貴	物 質 工 学 科
小保方 直 輝	環 境 都 市 工 学 科

2. 課外活動功労賞

氏 名	クラス	対 象 事 項
渡 辺 幸 徒	5J	学生会長
市 川 友 己	5M	男子寮長
日 高 美 希	5K	女子寮長、工華祭実行委員長
山 田 倫 香	5M	陸上競技部部長
齋 藤 汰 成	5M	硬式野球部部長
今 井 啓 太	5M	サッカー部部長
竹 内 大 貴	5K	バレーボール部男子部長
浅 見 文 香	5M	バレーボール部女子代表
鈴 木 基 靖	5E	剣道部男子部長
吉 田 智 咲	5C	剣道部女子代表
服 部 世 那	5C	テニス部部長
若 林 優 太 郎	5J	バドミントン部部長
中 林 心	5K	吹奏楽部部長
船 津 ゆ り	5K	美術部部長
瀧 澤 直 也	5J	理科部代表
森 田 蒼 典	5K	茶道部部長
田 中 英 行	5J	電算部部長
坂 上 諒	5M	演劇部部長
高 橋 陽 太	5E	ロボット研究会代表
青 木 英 喜	5M	エコノパワー愛好会代表
町 田 宇 輝	5C	構造デザイン研究会代表
増 田 春 日	5M	ダンス愛好会代表

4. 卒業研究優秀賞

氏 名	学 科 名	研 究 題 目
大 場 玄 翔	機 械 工 学 科	コイルを横配置させた電動アクチュエータ および発電機に関する実験的研究
箱 崎 結 子	電子メディア工学科	数量化理論を用いたデータ分析
佐 藤 秋 那	電子情報工学科	近年の前橋市におけるからっ風の 分類学的研究
中 村 成 希	物 質 工 学 科	芳香族層状ウレアを基本骨格とした チオウレア触媒の創製と不斉反応の検討
吉 田 智 咲	環 境 都 市 工 学 科	3次元モデリングとIoTセンシングを統合した 河川橋梁のリアルタイム管理システムの開発

5. その他(学会からの表彰等)

氏 名	クラス	クラブ名	対 象 事 項
嶋 清 花	2AP		The 6th International Conference on Science of Technology Innovation 2021 "Best Research Presentation Award"
清 水 敬 太	2AP		ぐんまグローバル始動人プレゼンアワード 2021 グランプリ 第2回インフラマネジメントテクノロジーコンテスト 最優秀賞 公益財団法人日本技術士会 日本技術士会賞
瀬 尾 翼	2AP		第13回社団法人電気学会東京支部栃木・群馬支部合同研究発表会 優秀発表賞
山 崎 太 雅	2AP		2023年度日本塑性加工学会 学生奨励賞
高 瀬 峻 汰	2AE		第7回関東磐越地区化学技術フォーラム 優秀発表賞
舘 野 瞬	2AE		令和3年度『SDGsの達成に貢献するバイオエコノミーとバイオテクノロジー』動画コンテスト 優秀賞
都 築 直 仁	2AE		第49回関東支部技術研究発表会 優秀発表者賞
永 井 梓 織	2AE		令和3年度日本化学会関東支部群馬地区研究交流発表会 ポスター賞
城 敦 士	5M		日本機械学会 畠山賞 日本設計学会 武藤栄治賞優秀学生賞
永 井 孝 太	5M		計測自動制御学会 SICE優秀学生賞
中 村 成 希	5K		第8回関東磐越地区化学技術フォーラム 優秀ポスター賞
牧 光 孝	5K		令和4年度 日本化学会関東支部群馬地区研究交流発表会 ポスター賞
渡 邊 一 牙	5K		日本化学会関東支部支部長賞
アメル ジャイク・ビ・アルミ	5K		日本化学会関東支部支部長賞
尾 谷 壮 哉	5C		全国高専土木工学会 近藤賞
岩 佐 茜	4K	理科部	リジェネロン国際学生科学技術フェア(Regeneron ISEF)2022 日本代表 文部科学大臣特別賞

3. 特別功労賞

氏 名	クラス	クラブ名	対 象 事 項
金 子 美乃莉	3C	陸上競技部	第32回ぐんまマラソン10kmマラソン女子(中・高校生) 1位 (女子10km 日本高専記録更新)
今 井 啓 太	5M	サッカー部	令和4年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼第51回 関東高等専門学校サッカー選手権大会・全国大会予選 優勝
尾 谷 壮 哉	5C		同上大会 優秀選手賞
岸 知 輝	4E		群馬県サッカー協会 優秀チーム賞
黒 澤 大 輝	4K		群馬県サッカー協会 優秀選手賞
渡根木 海	4M		
渡 邊 謙太郎	4E		
有 賀 光 希	4J		
山 本 空 澄	4J		
宮 下 海 光	4K		
新 井 颯之介	4C		
大 谷 空 遥	3E		
原 澤 伶	3E		
斉 藤 寛 太	3J		
富 岡 真 柊	2-2 (E)		
宇津木 太 羅	2-3 (C)		
結 城 安 理	1-1 (J)		
小 堀 友 輝	1-2 (K)		
釜 田 拓 弥	1-2 (C)		
今 泉 恵 登	1-4 (J)	バスケットボール部	令和4年度関東信越地区高等専門学校体育大会関東ブロックサッカー競技 兼第51回 関東高等専門学校サッカー選手権大会・全国大会予選 優勝
大 谷 玲 玖	1-4 (K)		
中曾根 恋 音	4K		
境 野 瑚 華	2-2 (M)		
木 原 愛 実	2-2 (C)		
秋 山 梨 紗	1-1 (C)		
高 橋 佑 仁	1-3 (E)		
西 郷 さくら	4K		
北 村 希 美	4C		
小 林 由 依	3M		
森 脇 憩	3K		
藤 松 果 弥	3K		
金 子 美乃莉	3C		令和4年度関東信越地区高等体育大会 バスケットボール競技 女子の部 優勝
菊 池 静 琉	3C		
岡 田 志 織	2-1 (M)		
原 華 恋	2-2 (C)	柔道部	令和4年度関東信越地区高等専門学校体育大会 柔道競技 女子個人戦57kg級 優勝
安 藤 夢 歩	2-4 (C)		第57回全国高等専門学校体育大会 柔道競技 女子個人戦52kg級 優勝
砂 岡 佑衣子	1-1 (M)		令和4年度関東信越地区高等専門学校体育大会水泳競技 女子200m個人メドレー 優勝
和 田 歩 佳	1-4 (J)		
辻 本 瑞 穂	3K	ロボット研究会	令和4年度アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト2022 関東甲信越地区大会 優勝
田 島 紗 優	3C		
櫻 井 花 梨	2-3 (C)		
高 井 颯 汰	4J		第35回アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト2022 関東甲信越地区大会 優勝
船 津 翔	3M		
山 崎 朝 陽	3M		
小 泉 慧 真	3M		
須 原 天 夢	3M		
関 口 拓 都	3M		
滝 谷 優 太	3M		
泉 谷 宏 人	2-5 (M)	水泳部	ぐんまプログラミングアワード2022 テクニカル部門・一般 優勝
水 野 哲 郎	4J		超小型衛星「KOSEN-1」開発プロジェクト 開発リーダー
鈴 木 颯 太	2AP		
伊 藤 優 介	2AP		超小型衛星「KOSEN-1」開発プロジェクト 主要メンバー
萩 原 想 大	2AP		

ニュース&トピックス

タイ高専プロジェクト

微笑みの国のKOSENへ

一般教科（自然科学） 嘱託教授 宮越 俊一

唐突に思われるかもしれませんが、この4月より2年間、タイの高専に赴任することになりました。タイと日本の政府の協力によるプロジェクトとしてすでに2校の高専がバンコク郊外に開校しています。国際的に注目されている KOSEN 教育に、両国の教職員が協力して取り組んでおられ、本校からも今年度まで、清水先生(数学)がKOSEN-KMITLで活躍されました。私はもう一校のKOSEN-KMUTTに派遣され、企業経験を活かして日系企業などとの連携に取り組むとともに、生物系教員として不自由な英語で授業をすることになります。

卒業生・修了生と同様、期待と不安の入り混じった船出となり、東南アジアと日本の間を軽々と往復する渡り鳥がうらやましく思っています。何かの折に、いい年してチャレンジしている教員もいたなあ・・・と思い出していただければ幸いです。落ち着きましたら、現地の高専と群馬高専との間で何らかの交流ができればと期待しています。



栄典【瑞宝小授章】

雨にもマケズ 風にもマケズの48年間
(瑞宝小授章の栄に浴して)群馬工業高等専門学校 名誉教授 小島 昭
(太田工科専門学校 校長)

このたび教育研究功労で瑞宝小授章を受賞いたしました。24歳から72歳まで48年間、働かせていただいた群馬高専の皆様への心温まる御指導・ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。昭和43年文部技官として工業化学科に採用。それから約半世紀、技官として教員として研究者として、多種多様な活動を行ってきました。群馬高専を日本一の高専にしたい、群馬県をもっと強くしたいと、群馬高専改革に取り組み、工業化学科を物質工学科に改組し、専攻科を設置。物質工学科棟と専攻科棟を竣工し、全国高専トップでテクノセンターを開設。建物をつくるとともに、中身、魂が大事です。仲間達と喧々諤々、議論を戦わせました。専攻科は、群馬高専の生き残りをかけての戦いで、これによって大きく飛躍しました。

私には3人の恩師がいます。研究のイロハは大谷杉郎群馬大学教授、群馬高専の教員としての心は桑形昭正第4代校長、高専の生きる道は小門純一新居浜高専校長。3名の恩師への叙勲報告は、西方浄土に向かって申しあげました。私は、独創性、創造性を重視し、人のやらない炭(スミ)の研究に取り組みました。大谷教授から「日陰にいなさい」との指導をうけ、20代、30代は炭焼きで顔も手も体も真っ黒、お先真っ暗の中、充電していました。40代、日向に出たので一気に活動しました。炭はスミにおけません。社会が困った時に登場し問題を解決する、お助けマンです。挑戦した研

究は、歯科インプラント、人工補助心臓、ビル外壁材、活性炭、くなくにゃ曲がるコンクリート、調湿機能をもつ壁材、自動車用炭素繊維強化プラスチック、宇宙航空機用材料、競走用自動車ブレーキ材、水質浄化材、魚介類集材、徐臭性植木鉢など。これらは論文発表後、実用化されました。その他、アスベストの低温無害化、フロン分解物やメッキスラッジの再資源化など環境問題にも取り組みました。研究成果は、研究室の学生、同僚、学外の共同研究者との汗と涙の戦いで勝ち取りました。今は太田工科専門学校の校長として、体力、気力、知力の続く限り、現役として頑張っています。



小島名誉教授(左)と三谷校長(右)

編集後記

令和4年度最後の学校だよりを無事発行することができて、ほっとしています。ところで本校も遅まきながら今年からTwitterアカウントを開設いたしました。今後はインターネットを活用した情報発信にも力を入れていきたいと考えています。とはいえ、学校だよりの重要性が減少したとは考えていません。速報性ではSNSに軍配が上がりますが、これからも読者の興味・関心に寄り添った紙面づくりを心がけていきたいと思えます。

(広報委員長 佐々木 信雄)